

令和8年度 公募中&これから公募予定の 事業者向け補助金制度

物価高騰、国による賃上げ推進、デジタル化やAI活用推進等によって、国・県・市による様々な補助金制度が動き出しており、新たな支援制度も設けられています。

そこで、伊達市商工会では各種補助制度の概要を一まとめた資料を作成いたしました。下記の注意点と併せてご覧いただき、活用のための検討材料として頂ければ幸いです。

【「採択される補助制度の選び方」のポイント】

- ① “補助金” の申請にあたっては「審査」があります。そのため、実質的には申請者同士でイスの奪い合いになる「ビジネスプランコンテスト」のような形式となります。
- ② “助成金” の場合は申請者同士で競い合うことはなく、要件を満たして書類が揃っていれば必ずもらえます。
(※助成金は主に厚生労働省管轄の制度が該当します)
- ③ 補助金を使って「買いたいもの」「ほしいもの」が補助対象経費になっているだけでは不十分！
それぞれの補助制度において、国・県・市が『**どんな事業所を支援したいのか**』を確認して「**自社の取り組みの方向性**」に合致すると採択率がアップします！
- ④ ここ数年、**政府の目標として「賃上げ」**が大きく取り上げられているため、従業員の時給アップを予定しているなら**今年度の申請はビッグチャンス！**
補助率や補助金の上限額がアップするほか、さまざまな制度の活用の選択肢が広がります！
- ⑤ 今年は**伊達市独自の「設備投資のための補助制度」**が設けられています。この制度は今年度だけの実施のため、**設備投資をするならば今年度がチャンス**です！

まずはここをチェック！

各制度の概要（目的・金額・補助率・対象経費）一覧表

① 小規模事業者持続化補助金 （一般型）

目的：持続的な経営に向けた
販路開拓の実現

金額：上限**50**万円

（※特例枠に該当の場合、最大250万円）

補助率：**3分の2** 以内

（※一部条件に合致すると4分の3補助）

対象経費 主なものを記載

機械装置等費

広報費

（チラシ・看板・広告掲載等）

外注費

（店舗改修工事費用等）

ウェブサイト関連費

（SNS/HP等制作、ソフトウェア等）

公募時期：第**20**回公募（～12/15）

概ね4～5ヶ月ごとに公募が行われております。
年度内の公募はこの**1回のみ**となる見通しです。

② ふくしま小規模事業者 いきいき支援補助金

目的：小規模事業者の創意工夫ある
取り組みの支援

金額：上限**30**万円

（※事業承継タイプの場合 最大50万円）

補助率：**3分の2** 以内

（※一部申請類型では4分の3補助）

対象経費 主なものを記載

機械装置等費

広報費

（チラシ・看板・広告掲載等）

外注費

（店舗改修工事費用等）

ウェブサイト関連費

（SNS/HP等制作、ソフトウェア等）

公募時期：6月**30**日締切

今年度
終了済み

福島県版の持続化補助金ともいうべき制度で、
毎年5～6月頃に1度だけ公募があります。

③ 事業承継・M&A補助金

目的：事業承継やM&Aの際の設備
投資を支援し承継・事業再編
の促進を実現すること

金額：上限**1,000**万円

（※上記は事業承継促進枠で賃上げ実施の場合）

補助率：**3分の2** / **2分の1**

（小規模事業者）

（中小企業）

対象経費 主なものを記載

設備費

産業財産権等関連費

（特許権取得に要する弁理士費用）

外注費

（業務の一部を第三者に外注するもの）

謝金

（事業の為に依頼した専門家謝金）

公募時期：第**15**回公募（～7/24）

概ね3～4ヶ月ごとに公募が行われております。
補助額も大きく大規模改装にも活用しやすいです。

④ ものづくり補助金

目的：生産性向上や持続的な賃上げ
に向けた革新的な新製品開発
に必要となる設備投資の支援

金額：上限**2,500**万円

（※従業員数に応じて750～2500万円で変動）

補助率：**3分の2** / **2分の1**

（小規模事業者）

（中小企業）

対象経費 主なものを記載

設備投資費

システム構築費

外注費

（業務の一部を第三者に外注するもの）

試作品開発費

公募時期：第**23**回公募

今後は後継制度
の形で公募。

第23回公募をもって「ものづくり補助金」は
終了し、後継制度に引き継がれます。

※) 小規模事業者って？

小売・卸・サービス業…常時使用従業員5名以下

建設・製造・その他…常時使用従業員20名以下

の事業所です。
個人事業主・法人問わず、従業員数が該当していれば小規模事業者として判定されます。

⑤ デジタル化・AI導入補助金

目的：AI等を用いた業務の効率化や
DXの推進などITツール導入
による生産性向上

金額：最大**450**万円

(※通常枠で1つのツール導入の場合は、最大150万円)

補助率：**3分の2** / **2分の1**

(最低賃金近傍の事業者)

(中小企業)

対象経費 主なものを記載

ソフトウェア購入費

クラウド利用料

(最大2年分)

導入関連費

保守サポートやマニュアル作成費等

本補助金はITベンダーと
共同で申請・導入・実績
報告までを行う制度です。

公募時期：第**6**回公募(～10/30)

概ね毎月ごとに公募締切が設定されています。
第6回公募まで、ほぼ毎月公募があります。

⑥ 中小企業省力化投資補助金

(カタログ注文型)

目的：人手不足に悩む事業者に対し
売上拡大・生産性向上のため
の省力化投資を支援

金額：最大**1,500**万円

(※従業員21名以上で賃上げ要件を満たした場合)

補助率：**2分の1** 以内

対象経費 主なものを記載

券売機・清掃ロボット等の省力化機器

本補助金は「省力化製品の販売事業者」により、
申請・導入の手続きをサポートする制度です。
公式HPのカタログ掲載機器のみが補助対象となります。

公募時期：カタログ型は随時受付

カタログ注文型は事業計画書も不要である等、
手続きが簡略化されており使いやすい制度です。

⑦ 中小企業省力化投資補助金

(一般型)

目的：人手不足に悩む事業者に対し
最適なオーダーメイドでの
省力化投資を支援

金額：最大**1**億円

補助率：**3分の2** / **2分の1**

(補助額1500万円まで) (1500万円～)

対象経費 主なものを記載

個別現場の設備や事業内容に合わせた
設備導入・システム構築費用

公募時期：第**6**回公募(公募時期未定)

一般型ではカタログ型と異なり自社に合った設備
を自由に選べますが、詳細な事業計画の作成が必要
になります。

⑧ 中小企業新事業進出補助金

目的：既存事業と異なる新市場・高
付加価値事業への進出により
生産性向上・賃上げを実現

金額：最大**9,000**万円

(※従業員数に応じて750～9,000万円で変動)

補助率：**2分の1** / **3分の2**

(通常)

(賃上げ特例の場合)

対象経費 主なものを記載

機械装置費

建物費

外注費

広告宣伝費

公募時期：第**4**回公募で終了

今後は後継制度
の形で公募。

事業再構築補助金の後継制度でしたが4回公募で
制度終了。今後は後継制度に引き継ぐ形となります。

⑨ 中小企業成長加速化補助金

目的：売上高100億円を目指して
大胆な投資を進めようとする
中小企業の取り組み支援

(※売上高が10億円以上100億円未満の企業だけが
申請可能な制度となっております。)

金額：最大**5**億円

補助率：**2分の1** 以内

対象経費 主なものを記載

建物費

(拠点新設・増築等)

機械装置費

(器具・備品費含む)

ソフトウェア費

外注費

公募時期：第**3**回公募(公募開始時期未定)

向上や物流拠点などの新設・増築や、イノベーション創出に向けた設備導入などに活用できる大型補助金です。

⑩ 伊達市 既存店舗施設

整備費補助金

目的：市内小売業・宿泊業・飲食業
・生活関連サービス業の「魅
力ある店舗づくり」支援

金額：最大**50**万円

補助率：**2分の1** 以内

対象経費 主なものを記載

集客力向上の
リフォーム工事

店舗と一体となって
機能する備品購入

※) 本制度を申請できるのは1店舗1回限りです。
※) 工事等については伊達市内の事業者へ発注する
必要があります。(市内事業者で対応できない
ものは例外的に認められるケースもあります)

公募時期：随時受付

伊達市内の事業者だけが申請可能な補助制度
です。

⑪ 伊達市 中小企業生産性向上 設備投資応援補助金

目的：物価高騰が続く中、市内事業者の
生産性向上・省エネ化・経営基盤強化
のための設備投資を支援

金額：最大**100**万円

(※補助額の下限は20万円。補助経費の総額が30
万円に満たない場合は補助対象外となります。)

補助率：**3分の2**

対象経費 主なものを記載

製造・加工機械等

POSシステム・キャッシュレス
決済端末等のITツール

LED照明への切り替え

省エネ型空調・
冷凍冷蔵設備 等

公募時期：5月1日～11月30日

公募期間中であっても予算額に達し次第、終了
となりますのでお早目の申請をオススメします！

⑫ 業務改善助成金

目的：従業員の賃金引上げを実施す
る事業者が生産性向上の設備
投資を支援

金額：最大**600**万円

(※従業員数と賃金引上げ幅によって変動します)

助成率：**5分の4 / 4分の3**

(事業場内最低賃金が1050円未満) (1050円以上)

対象経費 主なものを記載

機械装置費

店舗改装費

システム導入費

専門家謝金

公募時期：9月～11月の短期集中(見込み)

都道府県別最低賃金の改定に合わせて賃上げをする場合
も対象となります！令和8年度からは申請期間が大幅に
短くなるので早めのご準備をオススメします。

④ものづくり補助金 と ⑧新事業進出補助金が
統合され、新たな補助制度にリニューアルされました！

新

⑬新事業進出・ ものづくり商業サービス補助金

目的：「革新的な新製品・新サービス開発の支援」
「既存事業と異なる新市場・高付加価値事業への進出」
「海外市場開拓（輸出）に向けた国内体制強化」 を目的に実施

金額：最大 **9,000** 万円 （新事業進出枠・グローバル枠の場合。）
従業員数に応じて最大額は変化。

補助率：**2分の1** / **3分の2**

（革新的新製品・サービス枠の中小企業
および新事業進出枠の場合）

（革新的新製品・サービス枠の小規模事業者の場合
およびグローバル枠の場合）

対象経費 主なものを記載

機械装置・
システム構築費

技術導入費

建物費（新事業進出枠・グローバル枠のみ）

知的財産関連費

外注費・
専門家費

広告宣伝・
販売促進費

クラウド利用費

公募時期：**6月29日**（月）～**10月30日**（金）

既存の「ものづくり補助金」と「事業再構築補助金（新事業進出補助金）」の制度が
終了し、新たにスタートする補助制度です。

「本業の生産性を高め、新たな製品を作る為の設備を導入したい！」という方や、
「既存事業の強みを活かして、新たな事業分野や市場に進出したい！」という方が
申請可能な制度となっております。

補助金の最大額も大きいですが、それだけに求められる事業計画書についても作り込み
が必要になりますので、申請をご検討の方はお早めにご相談ください。

各種補助制度の活用をご検討の方は、伊達市商工会
までお気軽にお問合せください！

御社の「新たな取り組み」に向けて、事業計画書の
策定支援など、経営をサポートいたします。